

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 加藤 真治
幹事 兵藤 文男
会報委員長 山下 雅則

2015 ~ 2016年度 国際ロータリー K.R. ラビンドラン 会長テーマ

Be a gift to the world 世界へのプレゼントになるう

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2927回例会プログラム

[当年度=37回目；当月=3週目]

2016年（平成28年）5月17日(火)

観劇家族例会

於 名古屋クラウンホテル
新名古屋ミュージカル劇場

出席

会員総数 93名 出席免除 23名
出席義務者+免除者の内例会出席者 50名
欠席 24名 出席率 67.57%
前々回（4/25）の修正出席率 100%

会長あいさつ

ライオンズクラブとロータリークラブ

加藤 真治



刈谷ライオンズクラブのチャーターナイト50周年記念大会に出席して、ライオンズクラブについて少し知識を得ましたので、ライオンズクラブとロータリークラブが今国際的に取り組んでいる事業について少しお話してみます。

ライオンズクラブ国際協会は、2010年からはしかのワクチンをエチオピアなどの児童に接種する活動を始めました。そして2013年、GAVI アライアンスとライオンズクラブ国際協会は、世界の最貧国に住む数千万人の児童の命をはしかから守ることを支援するための独自のパートナーシップを発表しました。はしかは、1日当たり推定430人が死亡する感染力の強い病気で、そのほとんどが開発途上国で発生しています。

ライオンズクラブ国際協会はこのパートナーシップに基づき、3,000万ドルを調達し、GAVI アライアンスを通じてワクチン接種を促進するそうです。官民パートナーシップである GAVI アライアンスの使命は、世界の最も貧しい国々で予防接種を受けやすくすることにより、児童の命を救い人々の健康を守ることです。

ライオンズが調達する資金に英国国際開発省 (DFID) とビル&メリング・ゲイツ財団がマッチング資金を提供し、総額6,000万ドルを支援するそうです。

一方、ロータリークラブは国際ロータリーが1985年からポリオプラス計画を開始し、1988年には125カ国でポリオ患者が発生していましたが、2015年には2カ国まで減少し、撲滅まであと一息です。世界中のロータリアン

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 17:00 1. 点鐘……〈会長〉
2. 開会宣言
3. ロータリーソング斉唱
……それこそロータリー
4. ゲスト紹介
5. 会長挨拶並びに会長報告
6. 幹事報告
7. 出席報告
8. 委員会報告
9. ニコニコボックス報告
10. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(5/23) ……卓話「刈谷の歴史について」
講師 元小垣江東小学校
校長 近藤 圭介 様
(紹介者 杉浦世志朗 会員)
(5/30) ……休会
(クラブ定款第6条第1節 (c))

- 17:15 11. 諸事ご案内……〈親睦活動委員長〉
12. 点鐘……〈会長〉
13. 閉会宣言

17:15~18:00 食事
※食事後、自由に劇場へお越し下さい。

2. 観劇……………〈親睦活動委員会〉

新名古屋ミュージカル劇場「オペラ座の怪人」

18:30 ~ 21:10 (開場 18:00 ~)

※終演後、自由解散です。

がポリオ撲滅のため寄付した金額の倍の金額をビル&メリンダ・ゲイツ財団が支援してくれています。

ライオンズクラブとロータリークラブの違いはというと、ロータリークラブは「四つのテスト」に表現されている、高い倫理性を持って職業を通じて地域社会に貢献しようという理念を持っているところでしょう。

